

「日本海側の発展をリードする 元気な地方都市」を創造

2月18日、出雲市議会定例会が開会し、長岡市長が令和2年度の施政方針を表明しました。その主な内容を紹介します。

I. 所信

昨年は、平成から令和に改元され、天皇陛下の即位の礼が執り行われるなど、国全体が奉祝ムードにあふれた年でありました。また、ラグビーワールドカップでの日本代表チームの活躍は、国内を大きな熱狂に包みました。

こうした中、本市においては、S^{ソフト}・OFF^トJAPAN^{ジャパン}出雲キャンプが行われ、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成が大いに図られたところでもあります。

その一方で、全国各地で発生した自然災害は、より強固な防災対策・減災対策に加えて、縮災の重要性を改めて認識させられました。

さて、市長3期目の最終年度にあたる新年度は、5月に走る広告塔である「出雲ナンバー」の交付が始まります。

9月には、日本文化を世界に紹介する「日本博」に参画し、出雲の魅力を国

内外に発信するとともに、10月には松江市と共同で日本ジオパーク全国大会を開催します。

また、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートします。定住人口17万人台キープを目標に、地方創生、人口減少問題に引き続き立ち向かいます。

さらに、本市は多種多様な企業立地、高度な医療機関の集積等、高いポテンシャルを有しており、日本海側において有数の人口集積地である宍道湖・中海・大山圏域の中心都市として、発展してまいりました。引き続き『日本海側の発展をリードする元気な地方都市』を創造してまいります。

II. 市政運営のポイント

本市はこれまで、「げんき、やさしさ、しあわせあふれる縁結びのまち出雲」の実現に向け、産業振興、交流促進、都市基盤整備など、地域の活力を支える様々な取組を展開してまいりました。

新年度は、令和の新時代に輝き続ける「出雲」となるよう、次の4つの

ポイントを重点に取り組みます。

一、「多様な雇用の場の創出と人材の確保」

多様な雇用の場の創出については、創業希望者への支援や、世界に誇れるオンリーワンの技術やサービスを有する企業の誘致を行い、若者をはじめ、働く意欲のある人のニーズに応えてまいります。

その一方で、深刻な労働力不足の状況は続いており、人材の確保は重要な課題であります。

このため、県外に進学した学生やUターン希望者に対する市内就職に向けた支援など、人材確保に向けた取組を重点的に実施してまいります。

二、「多文化共生社会の実現」

本市は、これまで「外国人が住みやすいまちは、誰にとっても住みやすい」との想いから、「多文化共生推進プラン」を策定し、支援に力を入れてきました。

新年度は、多様性を認めあい、みんなで作る多文化共生のまちを実現するために、第2期多文化共生推進プラ

ンを策定します。これにより、コミュニケーションの促進や、安心して暮らせる環境づくりに努め、持続可能な共生社会をめざした取組を本格化させてまいります。

三、「魅力ある交流のまち出雲の実現」

オリンピック・パラリンピックの開催で、日本への外国人観光客の増加が見込まれる中、出雲の魅力を積極的にPRすることで外国人誘客を図ってまいります。また、訪れた人びとが長く滞在し、多様な観光資源を満喫していただける取組を実施し、滞在型観光への転換を促進してまいります。

さらに、県や近隣自治体と連携しながら、国際チャーター便の誘致や、新幹線の整備計画路線への格上げ、山陰自動車道の整備推進など、充実した広域交通体系の構築をめざします。

四、「安心して住み続けられる出雲の実現」

甚大な自然災害が全国各地で発生する中で、市民の生命、財産を守る防災・減災・縮災の強化、充実を図ってまいります。

また、自治会を中心とした身近なコミュニティの活性化や、市民による地域課題の解決への取組を支援し、住み慣れた地域での暮らしを守ってまいります。

一方、近年の出生数が減少傾向にある中、よりよい子育て環境を整え、多くの子どもたちが生まれ育つことは、本市の将来にとって取り組むべき大きなテーマであります。子育て家庭の負担軽減や、待機児童ゼロに向けた取組に力を注いでまいります。

以下、「出雲未来図」に掲げる4つの戦略プロジェクトに沿って、主要施策・主要事業を説明します。

Ⅲ. 主要施策・主要事業

1. 雇用創出2,500人プロジェクト

(1) 商工業

○ 地域企業の活性化

・ 小規模事業者の経営力強化等を図るため、業務の効率化や、商品力・商談力向上への支援

○ 出雲ブランド商品への支援

・ デジタルマーケティングなど、情報発信を強化

○ 創業支援

・ 創業塾の開催などの実施
・ 女性の創業について支援を強化

○ 商店街の再生・活性化

・ 空き店舗を活用した開業や中心商店街などの賑わい創出を支援

○ 魅力ある雇用の場の創出

・ 多種多様な業種の立地を図るとも

に、他にはないような優れた技術、サービスを有する企業の誘致を強化
・ 新工業団地の造成に向けた取組を推進

○ 人材確保対策

・ 県外進学者やU・Iターン者への地元就職を促進するための取組
・ 外国人住民、特に日系ブラジル人の市内企業等への就労に向けた取組

(2) 農林水産業

○ 売れるものづくりの推進、

経営体質の強化等の取組

・ 市場評価の高い、ぶどう、柿、いちじく、菌床しいたけ等の生産拡大に向けたリースハウス等の整備を推進
・ 畜産の飼養技術の向上やコスト削減等の経営体質の強化
・ 全日本ホルスタイン共進会への出品を支援

・ 出雲農業未来の懸け橋事業による産地の維持・拡大への取組

・ 新出雲農業チャレンジ事業による地域の課題解決に向けた提案事業等の推進

○ スマート農業の推進

・ IoT等の先端技術を活用したスマート農業の実証事業を、関係者と連携して実施

○ 担い手対策

・ 農地の集積や遊休農地の活用、耕作放棄地の発生防止につなげるため、実効性のある「人・農地プラン」を推進
・ 新規就農者に対し、就農初期の負担

軽減や施設整備を支援

○ 農業基盤整備

・ 宍道湖西岸地区での国営農地再編整備事業の布崎地区の着工
・ 農業用施設の長寿命化や防災・減災事業を実施

○ 林業振興

・ 「新たな森林管理システム」による森林資源の適正管理、森林施業の集約化
・ 循環型林業の推進のため、市内産木材の生産拡大と再造林を支援

○ 水産業振興

・ 資源回復やブランド化等の漁業者の取組を支援
・ 水産物消費の拡大のため、出雲の海の魅力を発信
・ 市管理漁港等の保全工事を推進

2. 定住人口キープ17万人プロジェクト

○ 定住・移住促進

・ Iターン独身女性に対する支援事業や「わくわく出雲生活実現支援事業」等を活用して、移住を促進

○ 未婚化・晩婚化対策

・ しまね縁結びサポートセンター等と連携し、婚活支援者セミナーや出会いの場イベント等を開催

○ 出雲の魅力の発信

・ ふるさと応援寄附の返礼品を拡充し、市を応援するファンを獲得
・ 「出雲ナンバー」の普及に向けたPRの実施

○ 多文化共生社会の実現

・ 多言語による情報提供や「やさしい日本語」での地域交流促進
・ 外国にルーツのある子どもたちが、多様な進路選択ができるための取組を実施

○ コミュニティ活動の推進

・ 自治協会等が行う自治会加入促進等、地域の活性化に向けた取組を支援
・ うみ・やま応援センターが中心となり、地域おこし協力隊の活動と定着を応援

○ 空き家対策

・ 実態調査を実施し、空き家台帳を更新
・ 行政センター単位での相談会開催
・ 出雲市空き家相談センターと連携し、民間での流通を促進

○ 公共交通ネットワーク

・ バス交通の各路線の維持・ニーズに合ったダイヤへの改善
・ 交通ICカードの導入検討



出雲ナンバーラッピングバスお披露目式の様子